



短期診療技術技能研修
呼吸器疾患研修

2016年8月1日(月)～8月19日(金)

北京 中日友好病院


- 日中笹川医学協カプロジェクト 同学会国内研修事業 呼吸器疾患研修を中日友好医院で行った。
- 日本の専門家として、笹川奨学金制度 指導教官でもある 東京大学 中島淳教授を派遣した。
- 実施機関である中日友好医院の王辰院長は中国の呼吸器内科領域におけるリーダーであり、現在中日友好医院はこの領域に力を入れており、診療面、研究面においてもトップレベルである。
- 受講者は陝西省、山西省、甘肅省、青海省、吉林省、黒竜江省、新疆の2級病院の医師が参加した。

配布資料

中华人民共和国
国家卫生和计划生育委员会

Supported by
THE NIPPON FOUNDATION

中日笹川呼吸与危重症 培训班



讲义

主办单位：国家卫生和计划生育委
日本财团
执行单位：笹川医学奖学金进修生
承办单位：中日友好医院

2016年8月1日-20日

2016-8-9	星期一	8:30-9:30	原发性支气管肺炎	教学楼301教室	曹颖阳
		9:30-10:30	胸腔积液	教学楼301教室	张朕岩
		10:30-10:45	茶歇		
		10:45-11:45	气胸	教学楼301教室	李俊
		11:50-12:30	肺气肿	教学楼301教室	蔡文娟
		13:30-15:30	胸部纵膈的处理	教学楼301教室	
		15:30-16:45	茶歇		
16:45-17:45	病例讨论	教学楼301教室	阮文赫、曹颖		
2016-8-10	星期二	7:00-12:00	呼吸中心大查房	教学楼413教室	杨汀
		13:30-14:30	呼吸重症的康复治疗	教学楼301教室	杨汀
		14:30-15:30	肺康复的评估、实施和监控	教学楼301教室	杜春花
		15:30-16:45	茶歇		
		16:45-17:45	呼吸重症功能控制	教学楼301教室	丁波
2016-8-11	星期三	8:30-9:30	胸片读片入门	教学楼301教室	谢晨
		9:30-10:30	胸部高分辨CT	教学楼301教室	谢晨
		10:30-10:45	茶歇		
		10:45-11:45	胸部纵膈影像鉴别	教学楼301教室	刘敬
		11:50-12:30	肺功能检查概论	教学楼301教室	李勇
		13:30-15:30	支气管扩张及气道重塑试验	教学楼301教室	李勇
		15:30-16:45	茶歇		
16:45-17:45	肺血管病的病例讨论	教学楼301教室	高倩		
2016-8-12	星期四	8:30-9:30	呼吸科及呼吸科亚专科查房	教学楼301教室	张峻立
		9:30-10:30	支气管镜检查	教学楼301教室	曹玉琳
		10:30-10:45	茶歇		
		10:45-11:45	肺活检	教学楼301教室	李鸣
		11:50-12:30	支气管镜在呼吸科的应用	教学楼301教室	李鸣
		13:30-15:30	支气管镜在呼吸科的应用	教学楼301教室	李鸣
15:30-16:45	茶歇				
16:45-17:45	肺球杆菌病例讨论	教学楼301教室	周蓉		
2016-8-13	星期五		复习，资料整理		
2016-8-14	星期六		复习，资料整理		
2016-8-15	星期日	8:00-11:00	在呼吸一二三部跟主治医生查房	各病房	张永明, 万刚, 任严安
		14:00-16:00	答疑、学员互动交流	教学楼301教室	李鸣
2016-8-16	星期一	8:30-9:30	哮喘患者的呼吸护理	教学楼301教室	韩春燕
		9:30-10:30	肺血管病患者的呼吸护理	教学楼301教室	陈巧
		10:30-10:45	茶歇		
		10:45-11:45	肺纤维化患者的呼吸护理	教学楼301教室	李志红
		11:50-12:30	呼吸物理疗法	教学楼301教室	姚淑梅
		13:30-15:30	WTC患者的呼吸护理—气道湿化	教学楼301教室	申艳玲
		15:30-16:45	茶歇		
16:45-17:45	雾化治疗(工作坊)	教学楼301教室	白金燕		
2016-8-17	星期二	8:30-9:30	喉咽与呼吸系疾病	教学楼301教室	肖丹
		9:30-10:30	中国临床重症指南解读	教学楼301教室	肖丹
		10:30-10:45	茶歇		
		10:45-11:45	戒烟门诊案例	戒烟中心	肖丹
		11:50-12:00	呼吸、肺血管病多学科讨论	12楼教学区	蔡文娟

2016-8-6	星期六		复习, 资料整理		
2016-8-7	星期日		复习, 资料整理		
2016-8-8	星期一	8:30-9:30	原发性肺动脉高压	教学楼301教室	任雁宏
		9:30-10:30	继发性肺动脉高压		
		10:30-10:45	茶歇		
		10:45-11:45	肺动脉炎	教学楼301教室	任雁宏
		11:50-12:30	纵膈病	教学楼301教室	阮文赫
		13:30-15:30	纵膈病变的自身免疫性疾病	教学楼301教室	王园园
		15:30-16:45	茶歇		
16:45-17:45	纵膈性疾病的病例讨论	教学楼301教室	任雁宏, 李鸣		

講演「原発性肺癌に対する診断と治療の現況」
東京大学医学部呼吸器外科 中島 淳教授



受講生との記念撮影



研修モニタリング

日中笹川医学協カプロジェクト 呼吸器疾患研修アンケート調査結果統計

- このアンケートには13名が回答した。
 1. 基礎データ
 - ① 年齢 最高 51 歳、最少 31 歳、平均 37.5 歳
 - ② 最終学歴
 - (1) 大専:2 名(15.38%)
 - (2) 本科:9 名(69.23%)
 - (3) 修士研究生以上:2 名(15.38%)
 - ③ 職掌
 - (1) 入院医師:2 名(15.38%)
 - (2) 主治医師:6 名(62.5%)
 - (3) 副主任医師:4 名(30.78%)
 - (4) 副主任看護師:1 名(7.7%)
 - ④ 職務
 - (1) 臨床医師:13 名(100%)
 - (2) 管理人員:0 名(0%)
 - ⑤ 医院の級
 - (1) 1 級:0 名(0%)
 - (2) 2 級:13 名(100%)
 - (3) 3 級:0 名(0%)
 - ⑥ 医院の性質
 - (1) 専門病院:2 名(15.38%)
 - (2) 総合病院:11 名(84.62%)

1. 中島教授の講義への意見と提案

① 興味があった内容:

- ・ 胸腔鏡下の腫瘍の探査、肺がんのステージについて
- ・ 肺がんのマイクロサージャリー治療
- ・ 肺がんのステージについて、手術指標
- ・ 重症、機械通気などの方面の課題について
- ・ 肺がんのステージについて
- ・ 新しい治療について
- ・ 肺がんの治療について
- ・ 肺がん手術の具体的な適応、予後について

② 足りなかった部分

- ・ 話が早すぎて、翻訳が追いつかず、聞き取れない部分があった。
- ・ 話が少し早かった。もっと深く掘り下げてほしかった。
- ・ 多くのテーマが病理生理、病理免疫をポイントにしていたが、多くの基層医院ではこれらを行っていない。これらの病理に触れることもなく、講義を聞いても応用できないし、すぐ忘れてしまう。
- ・ 日本語での講演であったこと。
- ・ 日本語がわからないので適応しにくかった。
- ・ 日本語の PPT がわかりにくかった。

③ もっと知りたかった内容

- ・ 腫瘍の外科的治療について
- ・ 肺がんの介入治療について
- ・ ICU の患者の感染管理について
- ・ 更に重症なテーマ
- ・ 基礎のトピックについて
- ・ 肺がん手術の費用について

④ その他の意見

- ・ もっと交流したい
- ・ 臨床実践と密接なものにしてほしい
- ・ 中国語のテキストがほしい

- アンケート結果

1. 講義内容は理解できましたか？	理解できた	大体理解できた	あまり理解できなかった
	3 (23.08%)	9 (69.23%)	1 (7.7%)
2. 講義の難易度はどうでしたか？	難しかった	ちょうどよかった	簡単だった
	0	13 (100%)	0
3. 講義内容は今後のあなたの仕事に有用でしたか？	有用である	まあ有用	役にたたない
	10 (76.92%)	3 (23.08%)	0
4. 講義の進め方はどうでしたか？	早かった	ちょうどよかった	遅かった
	2 (23.08%)	10 (76.92%)	0

项目活动报告

活动名称： 中日笹川呼吸与危重症医师培训班	
时间： 2016年8月1日-8月20日	人数： 15人
地点： 中日友好医院内	指导老师:杨汀、李一鸣等
报告人： 王玉华	期别： 第四期
单位： 中日友好医院	手机： 13683697716
	邮箱:yuhuawang2005@126.com
培 训 内 容	<p>以课堂授课、大查房、病例讨论及临床实习参观的形式进行培训：</p> <p>一、授课内容：</p> <p>日方专家特别演讲</p> <p>支气管哮喘、慢性阻塞性肺疾病基层规范诊疗、慢性咳嗽的诊断和治疗、呼吸困难鉴别诊断、药物吸入治疗及雾化疗法、慢性气道性疾病的病例讨论、胸片读片入门、胸部高分辨 CT、肺栓塞的诊断和治疗、肺源性心脏病、深静脉血栓形成的外科干预和介入治疗</p> <p>睡眠呼吸暂停基层指南解读、CAP 指南更新要点分析、侵袭性肺真菌感染、肺结核</p> <p>呼吸科常见病原微生物和药敏报告解读、抗菌药物的合理使用、肺部感染的病例讨论</p> <p>间质性肺疾病的分类与诊断、特发性肺纤维化、过敏性肺炎、结节病、伴肺部损害的自身免疫性疾病、肺脓肿、原发性支气管肺癌、胸腔积液、气胸、血气分析、肺部结节影的处理、肺癌病例讨论、呼吸中心大查房、呼吸疾病的康复治疗、肺康复的评估、实施和监控</p> <p>呼吸运动功能控制、肺动脉高压的诊断和鉴别诊断、肺动脉高压的治疗原则与临床实践</p> <p>肺部结节影的影像鉴别、肺功能检查概论、支气管扩张及气道激发试验</p> <p>肺血管病的病例讨论、无创气道炎症检测</p> <p>支气管扩张症等</p> <p>二、临床参观见习：呼吸与危重症医学科参观见习</p>
成 果 (亮 点)	课程内容安排很丰富，在临床中很实用，接触到很多新的呼吸系统疾病理论与科研成果，从更大的范围了解到呼吸系统常见病
建 议	进一步增加临床科室的参观或实践时间

プロジェクト事業報告

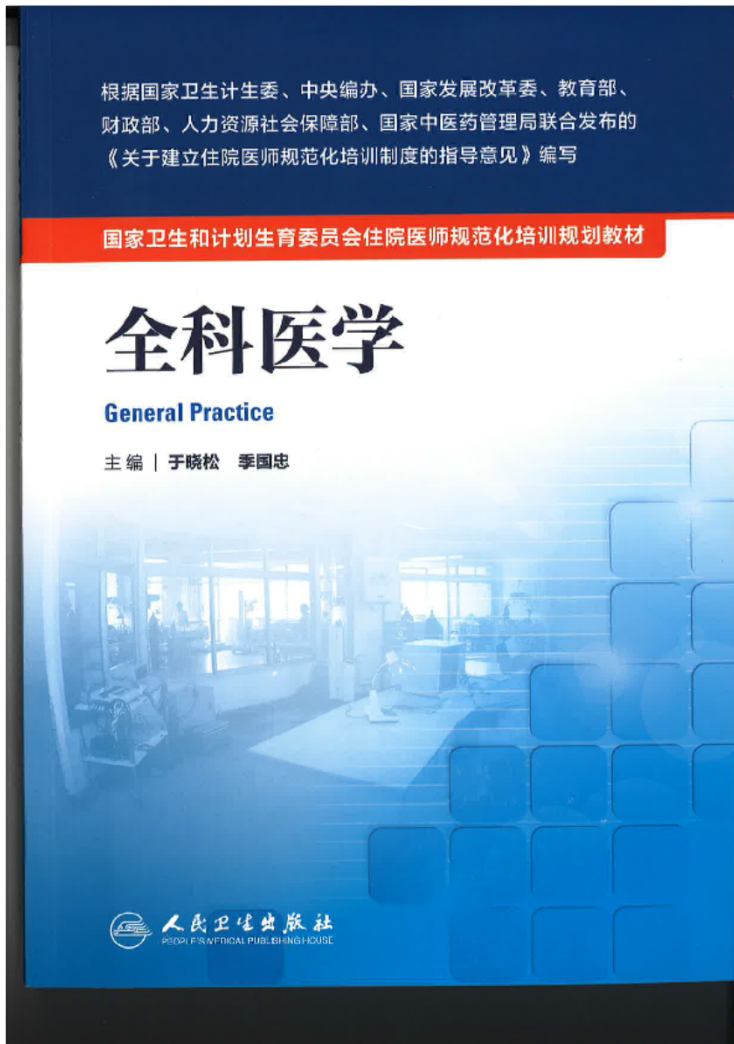
プロジェクト名称: 日中笹川呼吸と重症医師研修	
日時: 2016年8月1日-8月20日	受講者数: 15人
場所: 中日友好医院	指導教官: 楊汀、李一鳴
報告者: 王玉華	期: 第4期
研修機関: 中日友好医院	携帯電話番号: 13683697716
	E-mail: yuhuawang2005@126.com
研修内容	<p>座学、病棟回診、カンファレンス、臨床実習、参観等の手法で研修を行った。</p> <p>1. 座学内容</p> <p>日本の専門家が特別講演を行った。</p> <p>気管支喘息、慢性閉塞性肺疾患の基層での規範治療、慢性咳そのの診断と治療、呼吸困難の診断、薬物吸入治療やネプライザー療法、慢性気道性疾患のカンファレンス、胸部レントゲン読影入門、胸部CT、肺血栓の診断と治療、肺原性心臓病、深動脈血栓に対する外科的処置及び介入療法</p> <p>睡眠時無呼吸症候群に対する基層での指南解説、CAP 指南の要点分析、侵襲性肺真菌感染、肺結核、呼吸器科で常見される微生物と薬アレルギー報告の解説、抗菌薬物の合理的資料、肺部感染のカンファレンス</p> <p>間質性肺炎の分類と診断、特発性肺線維化、アレルギー性肺炎、結節病、肺部損傷を伴う免疫性疾患、肺嚢腫、原発性気管支肺癌、胸水、気胸、血気分析、肺部結節影の処理、肺癌のカンファレンス、呼吸センター回診、呼吸疾患のリハビリ治療、肺リハビリの評価、実施及びコントロール</p> <p>呼吸運動機能コントロール、肺動脈高血圧の診断、鑑別診断、肺動脈高血圧の治療原則と臨床実践</p> <p>肺部結節影の影像鑑別、肺機能検査概論、気管支拡張及び気道薬剤試験、肺血管疾病のカンファレンス、非侵襲性気道炎検査、気管支拡張症等</p> <p>2. 臨床研修: 呼吸と重症医学科を参観した。</p>
成果 たところ (良かった)	研修内容が豊富で臨床応用できる実用的なものであった。多くの呼吸器系疾患の新しい理論や科学研究の成果にも触れ、呼吸器系の常見疾病の理解が拡大した。
提案	臨床参観と実践の時間がもっとあればよかった。

短期総合診療研修

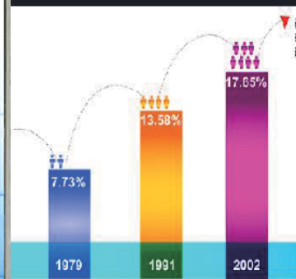
8月28日(日)~9月23日(金)
中国医科大学

- 日中笹川医学協力プロジェクト 同学会国内研修事業 短期総合診療研修を中国医科大学で行った。
- この領域の研修は中国医科大学では4回目であり、于曉松中国医科大学附属第一病院副院長が総合診療(「全科医」)が専門であることから、継続的にハイレベルの教育が行われている。
- 開始当初は、座学中心であったが、受講生の意見を取り入れながら、実習、見学を盛り込んだ結果、満足度も上がってきている。
- 受講者は海南省、雲南省、四川省、河南省、湖北省、重慶市、寧夏回族自治区の2級病院、及び衛生サービスセンターに勤務する医療従事者である。

配 布 资 料



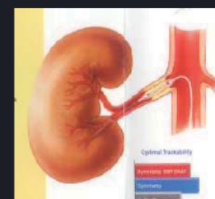
高血压的患病率



大规模高血压抽样调查显示：
高血压患病率增速惊人；

2

病变
症二指
，后者见
主要见



发病机理为肾动脉狭窄，肾内灌注压降低，使球旁细胞释放大量肾素，引起血管紧张素Ⅱ活性增高，全身小动脉管壁收缩而产生高血压。肾素及血管紧张素Ⅱ又能促使醛固酮分泌增多，导致水钠潴留，使血容量进一步增加，从而加重高血压。

于青少年。凡进展迅速的高血压或高血压突然加重，呈恶性高血压表现，药物治疗无效，均应怀疑本症。本症多有舒张压中、重度升高，体检时可在上腹部或背部肋脊处闻及血管杂音。大剂量断层静脉肾盂造影、放射性核素肾图有助于诊断，肾动脉造影可明确诊断。

講演風景 「高血圧の病因と診断」



研修モニタリング

総合診療研修アンケート結果より抜粋

受講生

Q：何故この研修に参加しようと思ったのですか？

A：医学が発展し、患者が求める医療サービスにも変化があるので、自身の臨床専門能力を高める必要があるため。

Q：どの科目が一番有用でどのような問題がありましたか？

A：有用であったもの

講義：糖尿病の薬物治療とASVDの診療

：カルテ分析、カンファランス、ガイドラインの紹介、国内外の分析の紹介

：研修内容が多岐に涉っていたこと。

いくつかの領域は専門性が強く、実用的であった。

臨床：感染症と健康管理方法

：心肺蘇生術

：基層の健康管理について学べたのは良かった。

A：問題点

講義：もっと広範な知識を得たかった。

：ガイドラインが国内のものだけであった。

：授業が少ない。

：何人かの講師は声が小さく内容は多いのに、PPTテキストを配布してくれなかった。

：研修期間が短く、内容が多いので、学んだ知識を吸収しきれない。

：机・椅子が小さすぎる。

臨床：社区での診療はもっと長い方がよく、1日あったら良かった。

Q：研修機関、指導医師のどのようなところが良かったですか？どこに問題がありましたか？

A：慢性病に対する指導が良く、今後の臨床業務の助けとなった。具体的には、高血圧、心臓病、糖尿病、代謝病等の疾病に対する指導である。

A：生活面では宿舎と教室が近く、便利であった。

A：生活方面では研修機関がとてもよく世話をしてくれた。

実施責任者

Q：研修は順調ですか？最大の収穫は何ですか？

A：研修は順調で、最大の収穫はこの研修を通じて同学会の力を最大限に発揮し、基層医療人員を育成できたことである。

Q：研修は同学会の特徴を生かしていますか？

A：同学会理事長の所属機関である中国医科大学で実施し、受講生には、日中笹川医学協力プロジェクトの内容、背景を理解してもらっている。同学会の傘の下で、受講生たちは将来的に協力連絡体制を作っていくだろう。

Q：研修は基層医療従事者の需要に応えていますか？

A：全国から来た受講生は皆臨床経験があるが、研修でそれを高めることが必要である。

A：中国医科大学全科医師研修は全国的にもハイレベルでこの領域の主任委員が在籍しているので、人材が揃っている。

Q：研修を通して受講生に「同学会」に対する理解は深まりましたか？

A：開講式で趙群理事長が奨学金制度、同学会、プロジェクトの経緯について詳しく紹介している。日中医学協会も研修視察のため訪中し、受講生に日本財団、プロジェクトについて受講生に話している。

Q：今後どのような内容の研修を行いたいですか？他の地区との協力の可能性はありますか？

A：現在のところ、他の内容、他の地区との協力は考えていない

项目活动报告

活动名称：中日笹川医学合作项目中国医科大学全科医师骨干培训班	
时间：2015年8月28日至9月24日	人数：14人
地点：中国医科大学附属第一医院	指导老师：于晓松
报告人：郎朗	期别：第四期
单位：中国医大一院	手机：13516003329
	邮箱：lang153@126.com
培 训 内 容	<p>全科医学基本概念：全科医学概述与全科医学教育、慢病共病的基层管理、以家庭为单位的健康照顾、重点人群的全科医疗服务、以社区为范围的健康照顾、全科医疗病例分享（原发性高血压、常见恶性肿瘤、2型糖尿病的医学营养治疗）、以预防为导向的健康照顾、蓝卡社区诊所参观教学。</p> <p>全科医学与健康管理：社区急症的全科医处理、骨质疏松症的全科医学处理、全科医疗病例分享（血脂异常的诊疗与管理、超重/肥胖的诊疗与管理、焦虑症的全科医学处理）、COPD的基层管理、心电图、市内五区CHS、</p> <p>慢性病管理与循证实践：以人为中心的健康照顾、循证医学在全科医疗实践中的应用、头晕的诊断与鉴别诊断、医学无法解释症状、高尿酸血症的诊疗与管理、2型糖尿病的药物治</p> <p>临床思维与基本技能培训：胸科疾病的基层诊疗思维、2型糖尿病并发症的综合管理、冠心病的诊疗与基层管理、慢性心衰患者的基层管理、儿童疾病管理、慢性病共病患者的现状与研究进展、AHA基础生命支持培训、企业健康管理现场观摩</p>
成 果 (亮 点)	<p>成果：学员圆满完成各项培训，全科医学及健康管理相关知识、理念、技能都得到明显提高，学员对培训效果满意。</p> <p>亮点：1、采用了案例教学、PBL、小组讨论、角色扮演、参观等教学方法。 2、增加了眼科教学内容。 3、加强了学生教学能力培养，让学生自制课件上台讲课。 4、增加了教学评价环节，学生为每一位教师打分，促进教学质量的提高。 5、聘请王永权等国内知名专家授课，受到学生的热烈欢迎。 6、专门参观了国际环球门诊，蓝卡社区诊所和辽河石化健康管理代表国内全科医学发展趋势和水平的特色项目。</p>
建 议	于从事全科医及相关学科临床工作的医师中选择学员进行培训。

プロジェクト事業報告

プロジェクト名称: 中日笹川医学合作项目中国医科大学全科医师骨干培训班	
日時: 2016年8月28日~9月24日	受講者数: 14名
場所: 中国医科大学附属第一医院	指導教官: 于晓松
報告者: 郎朗	期: 第4期
研修機関: 中国医科大学附属第一医院	携帯電話: 13516003329
	E-mail: langl53@126.com
研修内容	<p>総合診療の基本理念: 総合診療の概略と総合医教育、慢性病共存症の基層での管理、家庭を主とした健康教育、キークラウドに対する総合医療サービス、社区範囲の健康教育、総合診療医の病例共有(原発性高血圧、常見される悪性腫瘍、2型糖尿病の医学栄養治療)等、予防による健康教育を誘導し、藍卡社区の診療所の参観等を行った。</p> <p>総合診療医学と健康管理: 社区における救急の総合診療的処置、骨粗しょう症の総合診療的処置、総合診療の病例の共有(血液脂肪医療の診療と管理、肥満の診療と管理、不安障害の総合診療的処理)、COPDの基層における管理、心電図、市内5区の社区卫生サービス(communitary health service)について</p> <p>慢性病の管理と循証実践: ひとを中心とした健康教育、総合診療における循証医学の応用、めまいの診断と診断、医学では解明できない症状、高尿酸血症の診断と管理、2型糖尿病の薬物治療、眼科診断、適切な運動、女性の更年期の健康管理、環球外来の参観、受講者の討議及び経験共有</p> <p>臨床の考え方と基本技能研修: 胸部疾患の基層における診断、2型糖尿病合併症の総合管理、心臓病の診断と基層管理、慢性心疾患患者の基層での管理、児童の疾病管理、慢性病共存症の現状と研究の進展、AHA基礎生命支持研修、企業健康管理現場見学</p>
成果(良かったところ)	<p>成果: 受講生は無事に各研修を修了し、総合診療及び健康管理に関する知識、理念、技能が明らかに向上し、皆研修に満足していた。</p> <p>良かったところ:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 症例を用いて講義を行い、PBL(Project-Based Learning)、グループ討論、ロールプレイ、参観等の方法を用いた。 2. 眼科の教学内容を増やした。 3. 受講生の教学能力を育成するために、自身でテキストを作成させ講義させた。 4. 講義の評価基準を増やすため、受講生に全ての講師を評点させて教学の質の向上を図った。 5. 王永権等の国内の著名な専門家に講義を依頼し、受講生に歓迎された。 6. 国際環球外来、藍卡社区診療所と遼河石化健康管理等国内を代表する総合診療医学の発展の趨勢とレベルを示した。
提案	総合診療に従事している医師、もしくは関連学科で臨床を行っている医師の中から受講生を選抜してはどうか?



短期診療技術技能研修

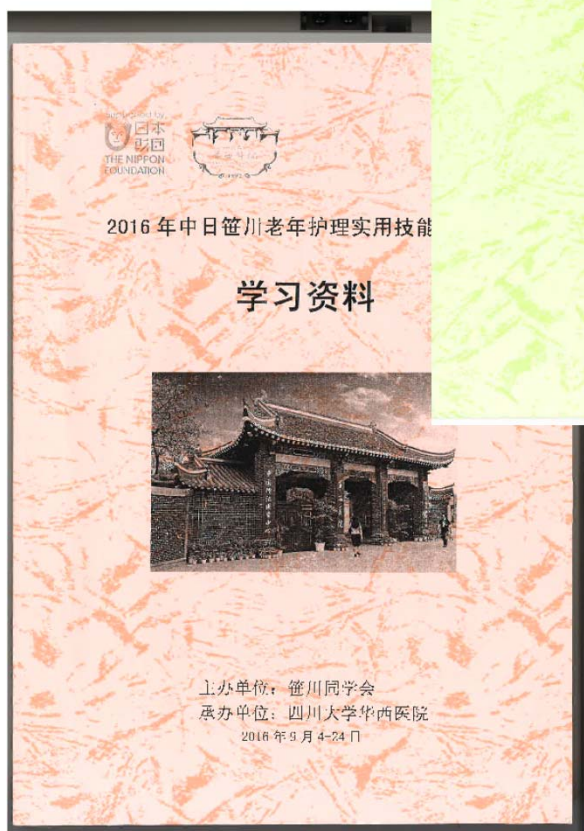
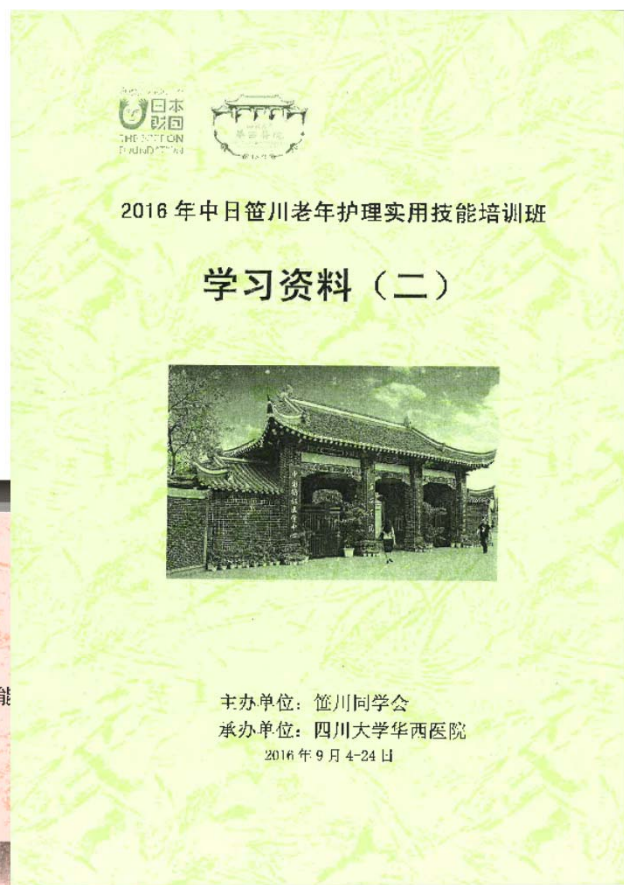
老年看護実用技術研修

2016年9月5日(月)～9月23日(金)

四川大学華西医院

- 日中笹川医学協カプロジェクト 同学会国内研修事業 老年看護
実用技術研修を四川大学華西医院で行った。
- 日本からは、田平武先生(日中笹川医学協カプロジェクトWG副委
員長)が講演・視察のため訪中した。
- 実施責任者の四川大学華西医院 胡秀英氏(第18期笹川生 四川
大学護理学院院長)は日本で老年看護を学んだ研究者である。
- 受講者は雲南省、海南省、河北省、四川省、内モンゴル自治区、
湖北省、江西省、広西チワン族自治区の看護師14名である。

配布資料



講演 「認知症の行動心理症状(BPSD)」

田平 武



講演「老年総合証-睡眠障害、鬱」
胡 曉宜



受講生との記念撮影



研修モニタリング

日中笹川医学協カプロジェクト
老年看護実用技術研修アンケート結果より抜粋

受講者

Q：何故この研修に参加しようと思ったのですか？

A：中国が高齢化を迎えるにあたって、老人看護の業務水準、管理水準を向上させるため。

Q：どの科目が一番有用でどのような問題がありましたか？

A：有用であったもの

講義：「老年看護における有効なコミュニケーション」「老年の終末看護」
「老年の健康総合評価」「PICCカテーテルの維持について」

臨床：心肺蘇生術、心電図測定術等

Q：研修内容は今後の業務に応用できますか？

A：充分応用できる

Q：研修に関する感想

A：今回の研修は内容が豊富で、新しい知識があり、視野を広げてくれた。老年看護での業務に自身がついた。

研修期間をもっと長くしてほしい。

成都で毎年1回おこなってほしい。そうすれば多くの人が受講できる。

実施責任者

Q：研修に関する感想

A：今回の研修は内容が豊富で、新しい知識があり、視野を広げてくれた。老年看護での業務に自身がついた。

Q：研修は順調ですか？最大の収穫は何ですか？

A：研修を行う過程で、現在基層の老年看護師が知識、技術の習得を希望していることがよくわかった。

Q：研修は同学会の特徴を生かしていますか？

A：同学会のおかげで日本の専門家が認知症の患者の行為、心理症状、処理方法の講演をしてくださった。

Q：研修は基層医療従事者の需要に応えていますか？

A：需要に応えている。基層の老年看護師は新しい知識を獲得したがつている。

A：この研修で他の同学会会員の協力を得ましたか？

Q：得ていない。

A：研修を通して受講生に「同学会」に対する理解は深まりましたか？

Q：この研修を行うことで、受講者や受講者の所属機関に同学会に対する認知度が上がった。開幕式で胡秀英主任が挨拶をし、田平先生が講演の際にも同学会の紹介をしておられ、同学会事務局の方も説明していた。

Q：今後はどのような内容の研修を行うことを希望しますか？

A：老年病の特殊な管理方法等

项目活动报告

活动名称：四川大学华西医院-2016年笹川奖学金老年护理实用技能骨干人员培训班	
时间：2016年9月4日至9月24日	人数：14人
地点：四川大学华西医院老年医学中心	负责人：胡秀英
报告人：黄兆晶	期别：第一期
单位：四川大学华西医院	手机：18980601178
	邮箱：xiuying.hu@163.com
培 训 内 容	<p>老年护理概述：老年护理学绪论、老化理论与老化伴随的各种机能变化等</p> <p>老年人日常生活护理：老年人日常生活照护理念、与老年人的沟通与交流、老年人的营养及护理、老年人的休息与活动、老年人的衣着卫生与清洁护理、老年人的排泄与护理等</p> <p>老年人的健康综合评估：老年健康综合评估的原则与注意事项、老年人躯体健康评估、心理健康评估、社会健康评估、生活质量评估及老年综合评估的实施与应用等</p> <p>老年综合征及护理：跌倒、噎呛、尿失禁、便秘、压疮、谵妄、多药共用、营养不良与护理等</p> <p>老年常见疾病与护理：老年慢性阻塞性肺疾病与护理、老年高血压病与护理、老年冠心病与护理、老年糖尿病与护理、老年退行性骨关节病与护理、老年痴呆与护理等</p> <p>老年人安全风险防范护理：老年人生活与环境的关系、环境系统评估、安全护理的评估、常见老年人安全问题、老年人安全护理实施、药物误服及中毒、烫伤防范与护理等</p> <p>老年人的健康保健与延续护理：老年保健的基本原则、老年保健的任务与策略、老年人的社区居家保健护理</p> <p>老年临终关怀：老年临终关怀、缓和医疗与安宁疗护的概述、患者、家属的护理及人文关怀等</p> <p>临床实践与专科技能培训：老年伤口护理、管道护理、血糖监测、人工气道的护理、无创呼吸机的安置、老年静脉血栓预防技术、老年康复护理、病例分享等</p>
成 果 (亮 点)	<p>成果：学员圆满完成各项培训，老年护理相关理念、技能、知识都明显提高，学员非常满意。</p> <p>亮点：1、采用了案例教学、体验式教学、小组讨论等教学方法。 2、增加了老年综合评估实践：谵妄、跌倒、压疮、噎呛、自理能力评估实践。 3、增加了中英文文献检索及管理、科研设计教学内容，加强学员科研能力培养。 4、增加了老年护理管理与老年病房管理教学内容，加强学员管理能力培养。 5、邀请顺天堂大学大学院医学研究系客座教授-田平武教授授课，受到学生的热烈欢迎。 6、培训结束后每位学员进行培训满意度调查，提意见及建议，持续改进教学质量。</p>
建 议	<p>于从事老年护理临床工作的护理骨干中选择学员进行培训。</p>

プロジェクト事業報告

活動名称：四川大学華西医院－2016年笹川奨学金老年看護実用技能リーダー研修	
時期：2016年9月4日～9月24日	人数：14人
場所：四川大学華西医院老年医学中心	担当：胡秀英
報告者：黄兆晶	期別：第一期
所属：四川大学華西医院	携帯電話：18980601178
	E-mail：xiuying.hu@163.com
訓練内容	<p>老年看護概述：老年看護学序論、老化理論と老化による各種機能の変化など</p> <p>高齢者の日常生活の看護：高齢者日常生活の看護の概念、高齢者とのコミュニケーションと交流、高齢者の栄養と看護、高齢者の休憩と活動、高齢者の衣服衛生と清潔看護、高齢者の排泄と看護など</p> <p>高齢者総合健康評価：老年総合健康評価の原則と注意事項、高齢者躯体健康評価、心理的健康評価、社会的健康評価、生活の質の評価及び老年総合評価の実施と応用など</p> <p>老年症候群と看護：転倒、誤嚥、尿失禁、便秘、褥瘡、せん妄、多剤併用大量処方、栄養不良と看護など</p> <p>老年多発の病気とその看護：老年誤嚥性肺炎とその看護、老年高血圧症とその看護、老年粥状硬化とその看護、老年糖尿病とその看護、老年変形性関節症とその看護、老年認知症とその看護など</p> <p>高齢者安全予防の看護：高齢者の生活と環境との関係、環境システム評価、安全看護の評価、高齢者の多発の安全問題、薬の誤飲と中毒、火傷の予防と看護など</p> <p>高齢者の健康保健と看護の継続：老年保健の基本的原則、老年保健のタスクと戦略、高齢者コミュニティの在宅保健看護</p> <p>老年ホスピスケア：老年ホスピスケア、緩和医療と緩和ケアの概述、患者と家族の介護とヒューマンイズムなど</p> <p>臨床試験と専攻技能訓練：老年傷跡ケア、パイプラインケア、血糖モニタリング、人口呼吸器の安置、老年静脈血栓塞栓症の予防技術、老年静脈血栓・防技、高齢者リハビリテーション・ケア、ケースレビューなど</p>
成果（注目点）	<p>成果：研修は順調に進んだ。生徒は老年看護についての概念や、技能や、知識などの理解が高まり、非常に満足した。</p> <p>注目点：1、ケース・ティーチング、体験授業、グループ・ディスカッションなどの方法を採用した。</p> <p>2、せん妄、転倒、褥瘡、誤嚥、セルフケア能力などについての老年総合評価の実践を増加した。</p> <p>3、中英文文献の検索と管理や、科学研究による設計された授業の内容が増加され、生徒の管理能力が育成された。</p> <p>4、老年看護管理と老年病棟管理についての内容が増加され、学員の管理能力が向上できた。</p> <p>5、順天堂大学大学院医学研究科客員教授の田平武教授が参加・講演され、受講生の歓迎を受けた。</p> <p>6、今後の研修の質をより一層高めるために、研修後に、各生徒に訓練の満足度について調査を行い、意見やアドバイスを収集した。</p>
提案	老年看護の臨床試験についての仕事を就いている優れた医療関係者選抜し、訓練し養成したほうがよい。



短期診療技術技能研修

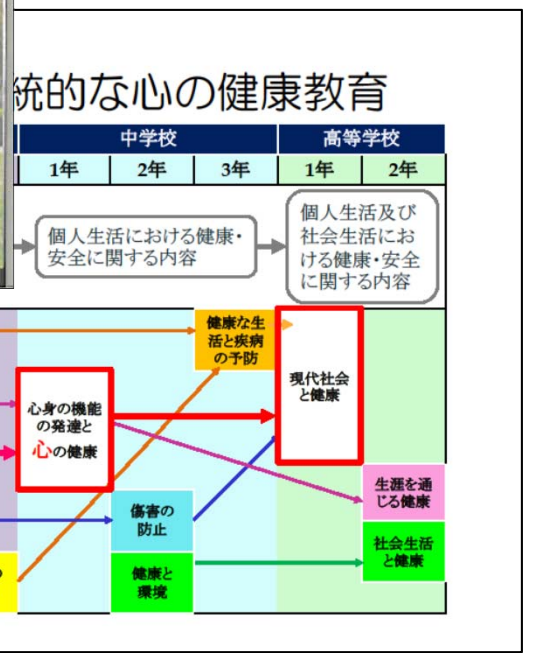
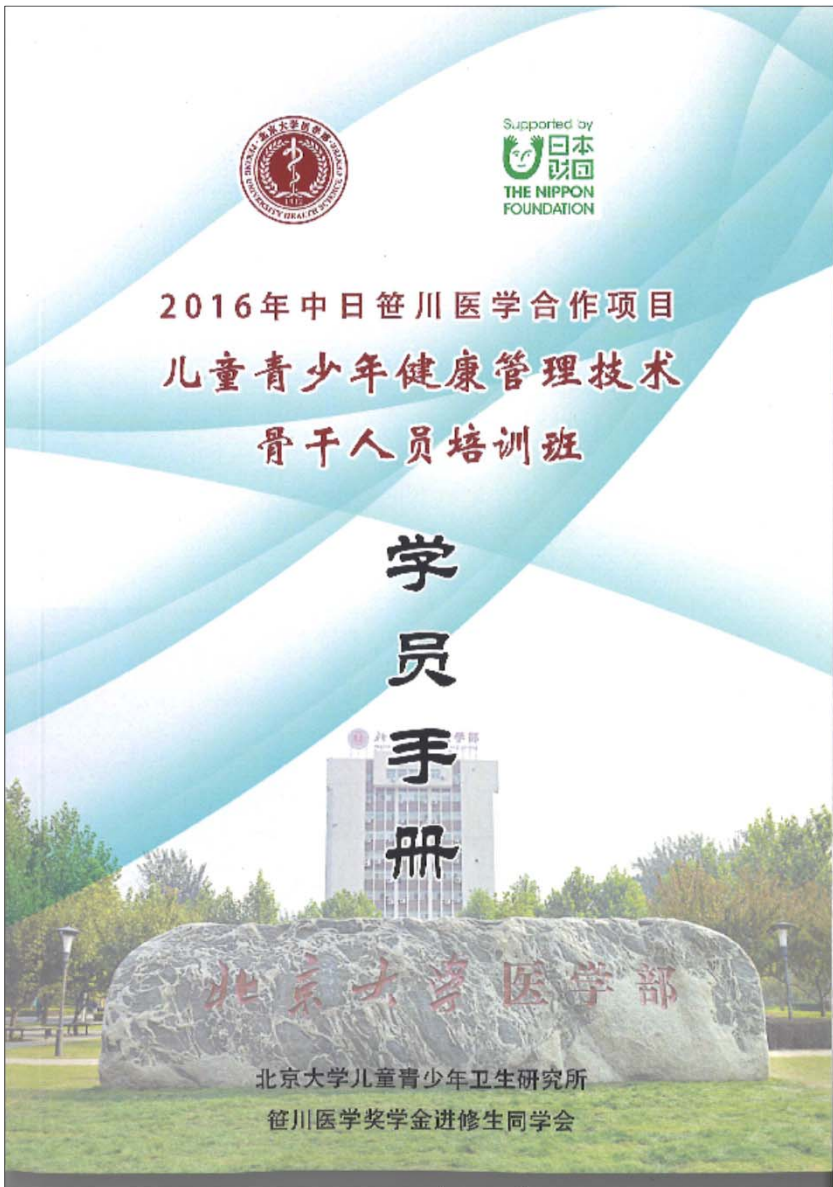
児童青少年健康管理技術研修

2016年9月12日(月)～9月16日(金)

北京大学児童青少年衛生研究所

- 日中笹川医学協カプロジェクト 同学会国内研修事業 児童青少年健康管理技術研修を北京大学公共衛生学院 児童青少年衛生研究所で行った。
- 日本の専門家として、亀崎路子先生(杏林大学)を派遣した。
- 受講者は雲南省、海南省、河北省、四川省、内蒙古自治区、湖北省、江西省、広西チワン族自治区の二級病院、社区サービスステーションの看護師である。

配布資料



講演
「日本の学校保健における児童青少年の心の健康づくり」
亀崎 路子



受講者との記念撮影



研修モニタリング

日中笹川医学協カプロジェクト
児童青少年健康管理技術研修アンケートより抜粋

受講者

Q：何故この研修に参加しようと思ったのですか？

A：学校保健の領域は、業務の発展が比較的少なく、業務知識が少ないので、今回の学習によってレベルを引き上げ、よりよい業務につながるようにと考えた。

Q：どの科目が一番有用でどのような問題がありましたか？

A：有用であったもの

講義：これまで全く知らなかった事項を知ることができた。
内容が豊富であった。

児童心理、エイズ等の疾病に関する問題は先進的で視野が開けた。

A：問題点

講義：科学研究に偏り、実践が少なかった。

辺境の地域に実在する問題と大きな差異があった。

期間が短かった。

基層業務員が直面する実際の問題に対応するようしてほしい。

Q：研修内容は今後の業務に応用できますか？

A：実際の業務には応用できない、もしくは応用に制限があるものもあった。

自分の所属地区では、研修の内容は全くの空白で今回学んではじめてその重要性を認識した。

実施責任者

Q：研修は順調ですか？最大の収穫は何ですか？

A：この研修を通して基層人員の疑問に答え、業務水準の向上を図れた。
又、受講者の向学心を満足させ、一つのステージを作り、ネットワーク形成することができた。

Q：研修は同学会の特徴を生かしていますか？

A：開幕式には同学会秘書長、事務局、日中医学協会、日本の専門家も参加し受講者は良い印象を持った。今回の講演の講演者には日中笹川医学奨学金制度の研究者が2名(第10期生 任愛国、第23期生 馬迎華)いる。

Q：研修は基層医療従事者の需要に応えていますか？

A：とても合致している。

現在、児童青少年の心身の健康問題は徐々に見過ごせない問題となっており、サービス人員の業務水準を高めることは児童青少年の健康状態を間接的に改善することになり、多くの家庭と国家発展のための重要な戦略である。又、受講生は小中学生の健康、健康教育、健康促進等の実際の業務に携わっており、その中で多くの問題に直面している。この研修は彼らの問題解決の助けとなる。

Q：この研修で他の同学会会員の協力を得ましたか？

A：同学会本部の多大な協力を受けた。

Q：国内研修に対する受講生の満足度はどうでしたでしょうか？

A：非常に満足していた。

Q：国内研修によって受講生の能力はどのように向上しましたか？

A：今回の研修は内容も豊富で、基層人員の理論知識を補充した。特に、小中学生の身体検査・健康管理、健康教育と健康促進、中学生のエイズ予防、学校伝染病、突発的公衆衛生課題等は非常に有用であった。

Q：研修を通して受講生に「同学会」に対する理解は深まりましたか？

A：非常に深まった。開幕式で参加者の挨拶により、同学会が多くの公益性の高い事業を行っていることを認知した。

Q：今後はどのような内容の研修を行うことを希望しますか？

A：今後は「エイズコントロールと管理」「生活技能に基づいた学校健康教育」等の内容の研修を行いたい。

项目活动报告

活动名称： 国家卫生计生委儿童青少年健康管理技术骨干人员培训班		
时间： 2016年9月12日-9月16日	人数： 11	
地点： 北京大学医学部	指导老师： 马迎华	
报告人： 马迎华	期别： 23	手机： 18600092188
单位： 北京大学儿童青少年卫生研究所	邮箱： yinghuama@bjmu.edu.cn	
培 训 内 容	培训内容： <ol style="list-style-type: none">1. 学校心理健康与促进2. 学校儿童青少年健康面临的挑战与应对3. 研究所简介4. 学校传染病管理5. 学校控烟6. 慢性非传染病预防7. 全国学生体质调研及其对生长发育趋势研究的启示8. 学生危险行为监测与干预策略9. 学龄儿童忽视与伤害预防10. 学校卫生管理及实践经验介绍11. 环境（雾霾天气）与学生健康12. 青年学生艾滋病疫情与防控策略13. 学校健康教育与健康促进14. 生活技能教育为基础的学校预防艾滋病教育15. 参观北京大学校园16. 学术论文撰写与发表17. 学生重大疾病防控技术和相关标准研制及应用18. 讨论与经验交流	
	授课专家： <p>马 军：北京大学儿童青少年卫生研究所所长，教授 马迎华：北京大学儿童青少年卫生研究所副所长，教授 陈晶琦：北京大学儿童青少年卫生研究所，教授</p>	

<p>培 训 内 容</p>	<p>任爱国：北京大学生育卫生研究所，教授 郭欣：北京疾病预防控制中心学校卫生所副所长，主任医师 陈天娇：北京大学公共卫生学院，副教授 周一：北京大学儿童青少年卫生研究所，副教授 胡翼飞：首都医科大学公共卫生学院，副教授 邓芙蓉：北京大学公共卫生学院环境卫生学系副主任，副教授 赵瑞兰：北京顺义区疾病预防控制中心学校卫生科，主任</p>
<p>成 果 （ 亮 点 ）</p>	<p>培训内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 内容丰富，补充了很多的理论知识，为基层人员提供了科学、严谨、规范的工作思路，有助于解决今后遇到的各种实际问题。 2. 内容先进，专家讲述了各领域的最新进展，使学员获悉国内外学校卫生工作、研究的最前沿，拓宽了基层工作人员的视野。 3. 内容具有实际指导意义，有助于现实工作开展，尤其在中小學生体检和健康管理、健康教育与健康促进、中学生艾滋病防控技术、学校传染病和突发公共卫生事件的处理能力等方面。 4. 除常规知识、经验培训外，还开展文献阅读和论文写作的教学，指导学员科学思考，将积累的工作经验进行发表。 <p>形式安排：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 由于本次培训班规模较小，基本实现1对1培训，小班教学效果较好。 2. 培训方式生动灵活，互动交流形式新颖，课堂氛围好。 3. 授课老师认真负责、讲解细致，有亲和力，对于学员的问题有问必答，无私分享个人工作数据与经验，帮助学员提升理论知识和业务能力。 4. 接待工作周到细致，工作人员热情耐心、时刻关心学员的学习、生活，及时提醒培训课程安排，积极帮助解决各种的困难。 <p>培训意义：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 儿童青少年的身心健康问题越来越不容忽视。通过提高服务者的工作水平来间接改善儿童青少年的健康状况，是一个有益于万千家庭和国家发展的重要策略。 2. 设立小班教学对基层人员进行培训，可以更好的解答他们的疑惑、满足他们追求进步的要求，进一步提升他们的工作能力和综合素质。 3. 通过高校培训这个平台，可以让更多的基层人员相互认识，形成网络，有助于各地经验交流。

<p style="text-align: center;">建 议</p>	<p>整体建议：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 本次培训意义深远，安排完善、精细，期待今后能多开展此类针对基层的培训，为服务于学校儿童青少年健康管理的基层专业人员工作能力的提高助力。 2. 活动前期应与各地（单位）负责人以及所有学员沟通好，说明培训的目的和意义。在培训班开始前再次与学员确认，有问题及时解决，杜绝自由去留、纪律散漫的现象。 3. 本次培训活动安排较为集中，持续时间短。适当调整活动，使培训时间延长，将有利于学员更好的消化知识，以及互相交流、探讨。 4. 建立有效且持续的联络通道，方便学员不仅能在培训期间了解到国家前沿的方针政策和相关学术研究，更能够在长期不断学习发达地区和高校研究的工作经验。 <p>对培训内容的建议：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 今后应有计划地、系统地开展培训，开班前进行一些小型调研，了解基层技术人员最需要的知识、实际工作中经常遇到的问题等，在具体授课教学时能够增加对这些问题的探讨和解答。 2. 邀请更多基层专家来讲课，加强相关业务部门之间的沟通。既重视理论教学，也能让大家更多地向那些工作开展效果好的地区学习一线工作方法和经验。 3. 限定参与培训学员的工作岗位，不同人群有不同的侧重和课程设计，如此一来会更有针对性，学员反响也会更好。如果种类较多，可以分批开展。 <p>对形式安排的建议：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 增加培训人数，办一次培训班让更多的人受益，并且他们可以将所学运用到日后的工作中，造福更多的地方群众。这样可以大幅提高成本-效益比。 2. 今后可以考虑组织学员到先进单位实地考察交流。让学员从多角度学习、实践、亲身感受，这会使他们的印象更深刻，所学的知识更扎实，从而更好服务于自己的日常工作。
--	---

附：培训班期间照片



(开幕式嘉宾精彩发言)



(活动内容备受学员欢迎)



(学员积极踊跃发言)



(学员认真听讲，吸收知识)



(马迎华老师为学员们授课)



(陈晶琦老师与学员互动交流)



(学员一起讨论课堂问题)



(课上学员积极提问、请教)



(课后学员与老师深入探讨)



(培训班闭幕合影留念)

プロジェクト事業報告

プロジェクト名称: 青少年健康管理技術リーダー研修	
日時: 2016年9月12日～16日	受講者数: 11名
場所: 北京大学医学部	指導教官: 馬迎華
報告者: 馬迎華	期: 第23期
研修機関: 北京大学児童青少年衛生研究所	携帯電話: 18600092188
	E-mail: yinghuama@bjmu.edu.cn
研修内容	<p>研修内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 学校心理の健康と促進 2) 学校児童青少年健康が直面している問題とその対応 3) 研究所の紹介 4) 学校伝染病の管理 5) 学校禁煙教育 6) 学校伝染病管理 7) 全国学生体質調査とその生育発育趨勢研究について 8) 学生の危険行為の監督とその防止策 9) 学齡児童のネグレクトおよび虐待予防 10) 学校衛生管理と実践経験の紹介 11) 環境(光化学スモッグ)と学生の健康 12) 青年学生のエイズ罹患状況とその予防戦略 13) 学校健康教育と健康促進 14) 学校での基礎的なエイズ予防教育のための生活技能教育 15) 北京大学キャンパス参観 16) 学術論文の執筆及び発表について 17) 学生の重大疾病予防技術と関連基準の研究及び応用 18) 討論及び経験交流
	<p>講演者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 馬 軍(北京大学児童青少年衛生研究所所長、教授) 2) 馬迎華(北京大学児童青少年衛生研究所副所長、教授) 3) 陳晶琦(北京大学児童青少年研究所、教授) 4) 任愛国(北京大学生育衛生研究所、教授) 5) 郭 欣(北京疾病预防与控制中心学校衛生所副所長、主任醫師) 6) 陳天嬌(北京大学公共衛生学院 副教授) 7) 星 一(北京大学児童青少年衛生研究所、准教授) 8) 胡翼飛(首都医科大学公共衛生学院、准教授) 9) 鄭芙蓉(北京大学公共衛生学院環境衛生学系副主任、准教授) 10) 趙瑞蘭(北京順義区疾病預防控制中心学校衛生科、主任)

<p>成果（良かったところ）</p>	<p>研修内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 内容が豊富で、多くの理論知識を補充した。基層の人員に科学的、厳格、規範的な業務の思考方法を提供し、今後遭遇する各種の実際問題の解決の助けとなった。 2) 内容が先進的で、講師は各領域の最先端の進展について講義し受講者が国内外の学校衛生業務、研究の最先端に触れ、基層業務人員の視野を広げた。 3) 内容は実際の指導の意味もあり、現実の業務に助けになった。特に小中学生の身体測定と健康管理、健康教育と健康促進、中学生エイズの予防技術、学校伝染病、突発的公共衛生問題の処理能力等の方面である。 4) 知識、経験研修以外に文献検索や論文作成の教学があり、受講者の科学的思考を指導し、蓄積した業務経験を発表させた。 <p>形式</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 今回の研修は規模が小さかったので、基本的には1対1の研修が実現できた。小さいグループなので研修効果があがった。 2) 研修は活発で互いに交流を進める形で行い、新しく雰囲気も良かった。 3) 講師の先生方は皆真面目で責任感が強く、講義も詳しく、親和力があり、受講生の問題には必ず回答をしてくれた。個人で得たデータや経験を共有して受講生の理論知識や業務能力を向上させる手助けとなった。 4) 受け入れ業務も周到できめ細かく、担当職員は親切で優しく、受講生の学習、生活にいつも注意をはらっており、研修スケジュールが予定通り実行されるように積極的に手助けをし、多くの困難を解決した。 <p>研修意義</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 児童青少年の心身の健康問題は軽視できないようになってきている。サービス提供者の業務水準を向上させることを通して、間接的に児童青少年の健康状況を改善することは多くの家庭に有益であり、国家発展の重要な戦略である。 2) 小グループで基層人員に研修を行うことで、彼らの疑問により良い回答ができ、彼らの進歩への要求を満たし、業務能力と総合資質を向上させることができる。 <ol style="list-style-type: none"> 3) 大学のこのようなステージで研修を行うことにより、更に多くの基層人員がお互いに知り合い、ネットワークを形成することで、各地の経験交流の助けとなる。
--------------------	--

提 案	<p>総合的提案</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 今回の研修は意義深く、手配が行き届いていて、今後も基層人員を対象とした研修を多く展開し、学校児童青少年健康管理の基層専門人員業務能力を高める力となっていくことを希望する。 2) 事業開始前に各地(各機関)の責任者、およびすべての受講者とコミュニケーションを取り、研修の目的及び意義について説明することが望ましい。研修開始前に受講者に再度確認を取り、問題が生じた場合はすぐに解決し、勝手に出入りしたり、規律が乱れることを防がなければならない。 3) 今回の研修は日程が集中していて時間が短かった。事業を調整し、研修時間を延長できれば受講者が知識を消化したり、相互交流をしたり、討議するのに有利である。 4) 有効で持続的な連絡ネットワークを設立し、受講者が研修期間中のみでなく、継続的に国家の政策方針、関連学術研究を理解できるようにし、長期的で継続的に発達地域と大学の研究業務経験を学習できるようにすると良い。 <p>研修内容に関する提案</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 今後は計画的、系統的に研修を展開し、研修開始前にアンケートを実施し、基層技術人員が必要とする知識、実際の業務中に遭遇する問題等を理解し、講義の時間の中でこれらの問題を討議し、回答する時間を増加すればいいのではないか。 2) 更に多くの基層専門家を招へいし、関連業務部門間のコミュニケーションを強化すると良いのではないか。理論講義は既に重視されているので、受講生をこれらの業務が上手く行っている地区に研修に行かせ、業務方法や経験を学ばせるとよいのではないか。 3) 研修受講生の職称を限定してはどうか。違う職称のグループでは重点か所も違い、研修内容も異なってくる。もし、職称を限定することができるとう受講生の反応も更に良くなると考えられる。職称の分類が多い場合は、分けて展開すると良い。 <p>形式に関する提案</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 受講生の人数を増やせば、一度の研修で更に多くの方が受益でき彼らが学んだものを運用できれば、更に多くの地方の人たちが受益し、コストパフォーマンスが上がる。 2) 今後は受講生を先進的な機関で実際に考察したり交流したりする機会を設けてはどうか。受講生は多角的に学習、実践、実感することができ、このことは彼らに更に深い印象を与え、学んだ知識がより身に付き、自身の日常業務でより良いサービスが生まれると考えられる。
--------	---



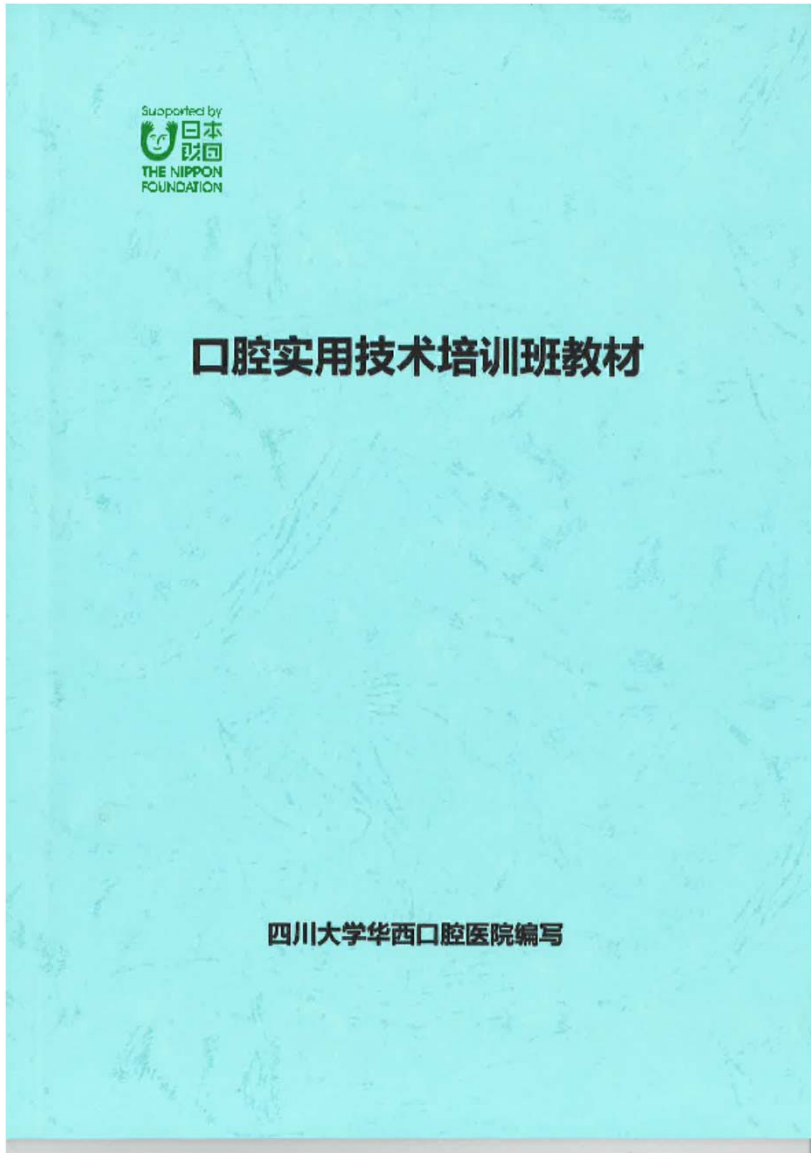
短期診療技術技能研修
口腔実用技術研修

2016年9月19日(月)～9月30日(金)

四川大学口腔医学院

- 日中笹川医学協カプロジェクト 同学会国内研修事業口腔実用技術研修を四川大学華西口腔医院で行った。
- 日本の専門家として、岡野友之先生(日中笹川医学協カプロジェクトWG委員)が訪中し、講演、研修視察を行った。
- 受講者は河南省・河北省・陝西省・内モンゴル自治区の2級医院の歯科医師である。

配布資料



2016/8/22

2016年9月19日・成都

Effects, and Reduction
口腔疾病治疗：
向・减少放射损害



April 18, 2014
 第13次中国西部口腔
 医学学术大会
 Chengdu成都

王虎教授和
 华西口腔医学院学生

文宏, DDS, PhD
 University, Tokyo昭和大学名誉教授
 运营委员会委员
 主
 .ac.jp

英国报纸的website
 'raise cancer risk'
 了使患癌风险增加。

Dental X-rays and the risk of thyroid cancer: A
 case-control study
 口腔科X线拍摄与甲状腺癌的··:病例对照研究
 by Memon A and et al.
 Acta Oncologica 2010; 49: 447-453

	病例/ 对照/312	病例 %	对照 %	· 步比
摄影 No	204/ 255	66.7	81.7	1.0
Yes	104/ 57	33.3	18.3	2.1
摄影数 1-4	75/ 48	72.2	75.4	2.2
5-9	16/ 4	15.4	7.0	4.6
10+	11/ 3	10.6	5.3	5.4

The findings provide some support to the
 hypothesis that **exposure to dental x-rays,**
particularly multiple exposures, may be
associated with an increased risk of thyroid
cancer



講演「歯科医療における放射線： 線量・人体影響・そして被曝低減」 岡野 友宏



研修モニタリング

日中笹川医学協カプロジェクト 口腔実用技術研修アンケートより抜粋

受講者

Q：何故この研修に参加しようと思ったのですか？

A：先進的な口腔操作技術を学び、診療水準を上げるため
視野を広げ、口腔学会の最新動向を知るため
口腔学会の最先端を知るため

Q：研修はあなたの需要に合っていましたか？

A：大変合っていた。

Q：どの科目が一番有用でどのような問題がありましたか？

A：有用であったもの

：研修内容が多岐に涉っていて、全体の知識水準を上げることができた
：臨床技術指導で正しいやり方を学ぶことができた

A：問題点

：講義が若干雑であった。例えば、インプラントに関しては講義を行い、深く掘り下げて話すと初心者には理解できず、簡単に話すと既にインプラントを行っている受講者には何のメリットもない。インプラントのような先端の科目は上手く調整できないのではないかと？
：自分の専門が歯科矯正学なので、インプラントでなくどうして矯正学がないのかと思っていた。

Q：臨床実習はどこがよく、どこに問題がありましたか？

A：有用であったところ

：手を取って教えてくれたので、学習効果が確実に得られた。

A：問題点

：内容が多様で、全てを学び、全ての能力を高められたが、全てが中途半端であり、華西口腔医院の技術水準には及ばなかった。

Q：研究機関や指導医師の対応はどうでしたか？

A：講師は皆熱心で専門家ぶらず、受講生のレベルの低い質問にも親切に答えてくれた。

Q : 研修内容は今後の業務に応用できますか？

A : 充分応用できる

Q : 研修は自身のキャリアアップに有用ですか？

A : ある程度有用である。

Q : この研修に対するあなたの満足度はどのくらいですか？

A : とても満足である。

Q : 国内研修に関して、同学会への感想、意見はあったらお書きください。

A : このような研修を複数回行い、沢山の基層の口腔医療者を育成してください。

いくつかのテーマに絞り、経験を伝授するような形にしてほしい。広く浅く学ぶのは避けてほしい。

実施責任者

Q：研修は順調ですか？最大の収穫は何ですか？

A：研修は順調だった。受講生の反応が良かった科目は、外科抜歯・歯体歯髄の新技术、院内感染の知識などである。歯科矯正方面は足りない感があった。

Q：研修は同学会の特徴を生かしていますか？

A：この研修は既に4年間華西口腔医学院で行っており、中西部の40歳以下の生年口腔医師に対して国内最高水準の講師により教育が行われており、受講生の臨床診療技術が向上している。

Q：研修は基層医療従事者の需要に応えていますか？

A：充分に応えている。

Q：国内研修で他の同学会会員の協力は得られていますか？

A：同学会李秘書長が日本の専門家の通訳を務めてくれた。

Q：国内研修の受講者の満足度はどうでしたか？

A：充分満足していた。研修は最新の技術と理念をわずか2週間で理解できるので、受講生は所属機関に戻ってそれを応用できるし、研修終了後も継続的に難しい症例について講師に相談できる。

Q：国内研修は受講者のどのような能力を向上させましたか？

A：口腔の最新の診療技術と操作規範を系統的に訓練することで技術が向上した。

Q：研修を通して受講生に「同学会」に対する理解は深まりましたか？

A：研修を通じて多くの受講生が同学会という組織を認知した。

Q：今後どのような内容の研修を行いたいですか？他の地区との協力の可能性はありますか？

A：基層の歯科医師に対して規範的な臨床技術の訓練を行い、現代の技術を提示することで、基層の診療技術が向上した。機会があれば、他の支部会との協力も考慮した。

项目活动报告

活动名称：中日笹川医学合作项目口腔实用技术培训班		
时间： 2016. 9. 18-2016. 9. 30	人数： 10	
地点： 华西口腔医院	指导老师：黄定明 教授 等	
报告人： 苏泽蓉	期别： 4 期	手机： 15882136469
单位： 华西口腔医学院	邮箱：kqnkjys@163.com	
培训内容	本次培训包括牙体牙髓、牙周、口腔外科、口腔修复、口腔种植、口腔放射、口腔消毒与感染控制、口腔护理及四手操作、口腔急救等理论知识讲授、临床操作演示以及操作培训	
成果（亮点）	<p>本次培训的内容十分广泛，几乎涵盖了作为口腔全科医生所需要掌握的方方面面，从各种口腔疾病的治疗到消毒、感染控制、以及护理等等基础知识，都给予了全面的讲解。</p> <p>授课的老师都是在各自领域进行了多年学习研究的专家，具有深厚的理论基础，与最前沿的治疗理念接轨，同时也拥有丰富的临床经验，对许多临床问题都有独到的见解。因此对于临床基础问题，在老师们的讲解下也会有许多新收获。</p> <p>培训使用的讲义图文并茂，除了基本知识，还有老师们总结的宝贵临床经验，配图使用的都是真实病例，更加具有说服力。</p> <p>除开讲授知识，本次培训还安排了许多临床技能操作培训。在实验室里使用仿头模练习橡皮障、牙体充填修复术、根管预备技术、根管充填技术等操作技能，并且有老师在旁指导。</p>	
建议	希望能有更多机会参与这样的培训班	

プロジェクト事業報告

プロジェクト名称: 日中笹川医学協力プロジェクト 口腔実用技術研修	
日時: 2016年9月18日～30日	受講者数: 10名
場所: 華西口腔医院	指導教官: 黄定明 教授等
報告者: 蘇澤蓉	期: 第4期
研修機関: 華西口腔医学院	携帯電話: 15882136469
	E-mail: kqnkjys@163.com
研修内容	<p>今回の研修は歯体、歯髄、歯周、口腔外科、口腔修復、インプラント、口腔放射線、口腔消毒と感染制御、口腔看護、PD診療、口腔救急等の理論の講義、臨床操作デモンストレーション、操作研修を行った。</p>
成果(良かったところ)	<p>研修の内容は後半で、口腔全科医師が掌握すべき各方面の知識を網羅している。各種口腔疾病の治療から消毒、感染制御、看護までの基礎知識を全て講義によりカバーしている。</p> <p>講義を行った講師は自身の領域で長年に渉り研究をされた専門家で、深厚な理論基礎を持ち、最先端の治療理念を持つ方ばかりで、豊富な臨床経験を持っている。多くの臨床的な基礎的な問題は講師陣の講義で多くの収穫があった。</p> <p>研修で使用した教材は、基本的な知識以外に講師の先生方の貴重な臨床経験が使用されており、実際の病例が使われており、説得力があった。講義による知識の伝授以外に今回の研修では多くの臨床技能操作研修を設定した。実験室でモデルを使用した rubber dam、歯体充填修復技術、根管予備技術、根管充填技術等の操作技能を講師の指導を受けながら行った。</p>
提案	<p>このような研修機会をもっと増やしてほしい。</p>

短期診療技術技能研修

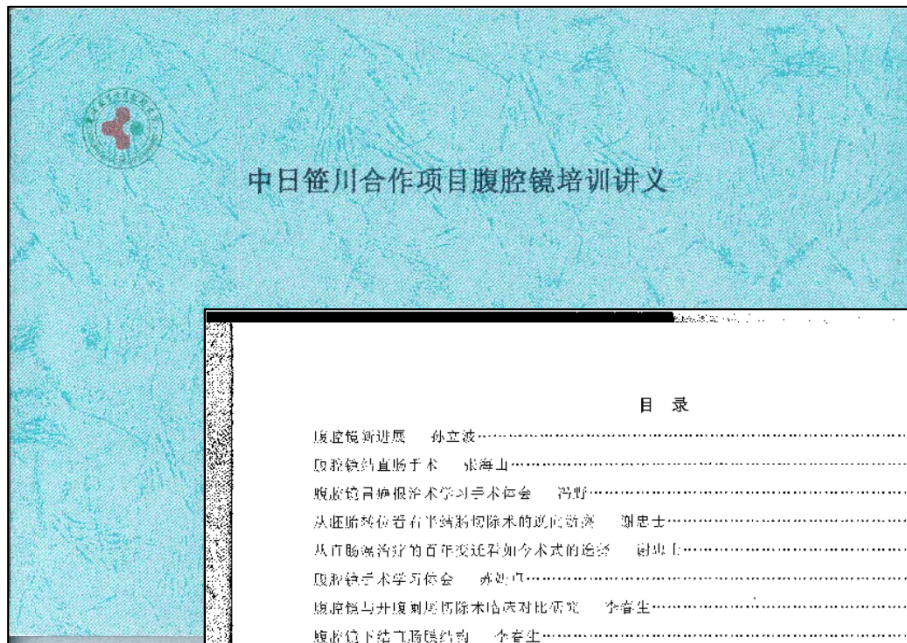
腹腔鏡実用技術研修

2016年11月1日(火)～11月11日(木)

吉林大学中日聯誼医院

- 日中笹川医学協カプロジェクト 同学会国内研修事業 腹腔鏡実用技術研修を吉林大大学中日聯誼医院で行った。
- 日本からは、江藤一洋業務執行理事が訪中し視察を行った。
- 実施責任者の孫立波氏(吉林大学)は日本で腹腔鏡技術を学んだ研究者であり、聯誼医院は歴史的にも日本との関わりが強く、日本留学組が多数在籍する。
- 受講者は遼寧省、河北省、黒竜江省から参加した主治医師、副主任医師クラスの腹腔鏡に携わる医師である。

配布資料



目 录	
腹腔镜新进展	孙立波.....1
腹腔镜结直肠手术	张海山.....12
腹腔镜胃镜根治术学习手术体会	冯野.....27
从亚断段位看右半结肠切除术的演变	谢忠士.....30
从直肠癌治疗的百年变迁看如今术式的变迁	谢忠士.....35
腹腔镜手术学习体会	苏旭东.....42
腹腔镜与开腹切除结肠癌对比研究	李春生.....45
腹腔镜下结直肠结肠癌	李春生.....53
腹腔镜直肠癌术中神经的保护	肖慧杰.....61
左右半结肠癌的手术	肖慧杰.....72
程序化手术在高 BMI 胃癌患者手术中的应用	季国建.....83
腹腔镜低位直肠癌保肛的经验探讨	申晟.....86
腹腔镜直肠肿瘤手术体会	姜涛.....89
经肛门内镜微创手术 (TEM) 指南解读及经验分享	刁威.....96
直肠类 NOTES 手术	于威.....98
直肠腺癌	史学东.....102

講演「腹腔鏡手術の過去と未来」
吉林大学中日聯誼医院胃腸外科 孫立波主任醫師



講演「腹腔鏡下胃腸手術」
吉林大学中日聯誼医院胃腸外科 馮野主任醫師



研修風景



受講生との記念撮影



研修モニタリング

日中笹川医学協カプロジェクト 腹腔鏡実用技術研修アンケート調査結果統計より抜粋

受講者

- Q：何故この研修に参加しようと思ったのですか？
A：腹腔鏡のレベルを向上させるため
Q：どの科目が一番有用でどのような問題がありましたか？
A：有用であったもの
講義：理論の内容が豊富で実用的であった
受講生の疑問に対して講師が丁寧に答えてくれた
A：問題点
臨床：モデルを利用したトレーニングが有用であったが
時間が短かった
手術室の参観をもっと行いたかった
動物トレーニングがなかった
Q：研修内容は今後の業務に応用できますか？
A：充分応用できる

実施責任者

- Q：研修は順調ですか？最大の収穫は何ですか？
A：受講生の腹腔鏡手術に対する認識を深めさせ、視野を広げた
受講生の手術操作の基本的技能を向上させた
微信(ウイチャット)のグループを作り、受講生が継続的に指導を受けられるようにした。
Q：研修を通して受講生に「同学会」に対する理解は深まりましたか？
A：日中笹川医学交流が価値あるものだという認識が深まり、日本に対する友好感情が芽生えた。

研修スケジュール

日時	午前	午後
11月1日(火)	登録・オリエンテーション	登録・オリエンテーション
11月2日(水)	講義 ・腹腔鏡手術の過去と未来(孫立波) ・腹腔鏡下結直腸手術(張海山) ・腹腔鏡下胃腸手術(馮野)	腹腔鏡操作訓練 (基本操作・テスト)
11月3日(木)	講義 ・腹腔鏡APR柱状切除及び双鏡法(謝忠士) ・腹腔鏡右半結腸癌根治術(謝忠士) ・腹腔鏡胃腸手術助手の経験(蘇研卓)	手術見学
11月4日(金)	講義 ・腹腔鏡胃癌根治手術 ・腹腔鏡胃間質瘤の手術 ・腹腔鏡ヘルニア手術	腹腔鏡操作訓練 (腸管縫合・テスト)
11月5日(土)	講義 ・腹腔鏡虫垂炎切除術(李春生) ・腹腔鏡下膜解剖(李春生) ・結腸癌肝転移治療原則(李博)	
11月6日(日)	講義 ・腹腔鏡直腸手術自主神経保護(肖慧潔)	
11月7日(月)		腹腔鏡VR操作訓練1 (訓練・テスト)
11月8日(火)	手術見学	手術見学
11月9日(水)	腹腔鏡モデル操作訓練	腹腔鏡モデル操作訓練
11月10日(木)	手術見学	腹腔鏡VR操作訓練2 (訓練・テスト)
11月11日(金)	手術見学	手術見学

项目活动报告

活动名称： 国家卫计委国际司中日笹川医学腹腔镜实用技术骨干培训班	
时间： 2016, 11, 1 2016	人数： 9
地点： 吉林	指导老师: 孙立波等 17 人
报告人： 孙立波 期别： 第四期（北部第一期）	手机： 13514401922
单位： 吉林大学中日联谊医院	邮箱: sunlibo0431@sina.com
培训内容	<ul style="list-style-type: none">(1) 腹腔镜基本理论、基本技术、现代进展。(2) 腹腔镜模拟基本训练，基本腹腔镜手术操作。(3) 腹腔镜在腹部外科，减重外科等各领域的临床应用和手术展示。(4) 手术室临床现场手术观摩。(5) 腹腔镜胃癌手术现场手术转播。
成果（亮点）	<ul style="list-style-type: none">(1) 改变了培训医生对腹腔镜手术的认识，开阔了眼界。(2) 接受培训医生增加了腹腔镜手术操作的基本技能。(3) 增强了受培训医生对开展腹腔镜外科手术的自信。(4) 建立了微信联系，为受培训医生后续医疗援助提供了平台。(5) 加强了中国外科医生对中日笹川医学交流价值的认识。进而增进了日中友好感情。
建议	<ul style="list-style-type: none">(1) 继续在此方面获得资助。(2) 经费略显不足

プロジェクト活動報告

活動名称: 国家衛計委国際司中日笹川医学腹腔鏡実用技術リーダー研修	
日時: 2016, 11, 1	受講者人数: 9
場所: 吉林省	指導教官: 孫立波(第19期)等 17人
報告者: 孫立波 期: 第4期(北部第1期)	携帯電話: 13514401922
研修機関: 吉林大学中日聯誼医院	E-mail: sunlibo0431@sina.com
研修 内容	<ul style="list-style-type: none"> (1) 腹腔鏡の基本的理論、基本的技術、最新技術 (2) モデルを使用した腹腔鏡の基本訓練、基本的モデル操作 (3) 腹部外科、減量手術等各領域の臨床応用と手術参観 (4) 手術室での手術見学 (5) 腹腔鏡における胃癌手術の放映参観
成 果 (良 か っ た と こ ろ)	<ul style="list-style-type: none"> (1) 受講生の腹腔鏡手術に対する認識を深め、視野を広げた (2) 腹腔鏡手術操作の基本的技能を向上させた (3) 受講生が腹腔鏡手術に対する自信をつけた (4) 微信(ウイチャット)のグループを作り、受講生が継続的に医療上の指導を受けられる環境ができた (5) 日中笹川医学交流が価値あるものであるという認識が深まり、日本に対する友好感情が芽生えた
提 案	<ul style="list-style-type: none"> (1) 継続的な支援を希望する。 (2) 経費が少々不足した

国家衛生計画生育委員会能力建設和繼續教育中心

公立醫院院長職業化研修

2016年6月27日(月)~7月2日(土)

陝西省西安市唐都飯店

- 国家衛生計画生育委員会能力建設和継続教育中心が実施する「院長職業化研修」における日本の専門家の派遣を同学会が委託された。
- 日本の専門家として、病院のコンサルタント業務を行っている東日本税理士法人 長英一郎所長を派遣
- 受講生は三級以上の病院の院長、副院長であったので、日中笹川医学協力プロジェクト、日本財団、同学会に関する紹介を行い、又、日中笹川医学奨学金第39期生の募集に関する告知も行った。
- 受講者は講演中の「日本の医院管理指標」に非常に興味を持ち、医院の経営的事項に関する質問が相次いだ。

配布資料

长 英一郎 (Osa Eiichiro)

东日本税理士法人 所长
注册会计师 税理士

1974年12月20日出生

1997年 中央大学商学部会计学学科毕业
2007年 成为注册会计师会员
2016年 东日本税理士法人 所长

负责业务

- 医疗报酬所得与管理会计相关咨询业务
- 提供医疗制度、医疗报酬所得的相关信息
- 会计审计与业务审计
- 社会医疗法人认证申请
- 特定医疗法人认证申请

东日本税理士法人业务内容

- 税务与会计服务
- 特定医疗法人咨询业务
- 社会医疗法人咨询业务
- 遗产继承对策咨询业务
- 改善医院经营状况咨询业务

客户多来自于日本全国的公立、私立医疗机构 (34)



公立医院院长职业化培训班 (第三期) 暂定

	内容	主讲人/主持人
	学员报到	能力建设和继续教育中心
50	开幕式	能力建设和继续教育中心主任 杨爱平
0	2016年公立医院改革	国家卫生计生委体改司
20	休息	
30	大型医院巡查医院评价	国家卫生计生委医政医管局

日本财团 (The Nippon Foundation)

日本财团 (The Nippon Foundation) 是 1962 年成立的民间组织机构。财团资金来自于日本国内各地方自治体主办的赛艇活动收入的 2.6%，主要对在日本国内外进行公益事业的财团法人、社会福祉法人、NPO 法人、志愿者团体等进行资助活动。财团自成立以来，为能让民间团体也在公众事业中承担起自己的一份责任，主要致力于社会福祉、教育、文化等活动、海洋船只相关活动、以及海外人道活动等人才培养相关的三个方面为重点开展财团业务。



日中医学协会 (The Japan China Medical Association)

日中医学协会在两国的医学、口腔、药学、护理、照护等医学、医疗相关领域开展交流项目，将“为普及和提高以中日两国为中心的亚洲地区的医疗卫生水平做贡献”作为目标，开展 (1) 资助研究工作及学术共同研究、(2) 举办学术会议、(3) 开展医疗合作项目及支援活动、(4) 调查与信息收集、开展宣传教育活动、(5) 人才培养、(6) 邀请和派遣专家及开展为实现目标所需的其他项目。

日中笹川医学奖学金制度

作为日本财团资助的项目之一，与国家卫生和计划生育委员会（原中国卫生部）共同实施了日中笹川医学奖学金制度。该项目旨在培养有望成为医学/医疗领域的带头人，通过他们在日本的见闻和与当地人的交流，培养并了解日本社会的医务人员。中方医务人员的赴日学习期间为 1 年。

迄今为止，日本共邀请了 2,200 多名的中方研究人员来日学习，接收单位多达 223 家，指导老师达 1,660 余位。

研究人员归国后活跃于中国各地，在中国医学界发挥着骨干核心的作用。其中有 2 名研究员当选为中国科学院院士（相当于日本的学士院会员），13 名研究员担任医科大学校长（含副校长）、27 名研究员担任三甲医院院长（含副院长）。

此外，归国人员于 1991 年在中国国内成立了同学会组织——笹川医学奖学金进修生同学会（简称笹川同学会），在中国的六大地区设立了 6 个国内分会，在日本和北美地区分别成立了海外分会。笹川同学会正积极致力于把在日本学到的知识和技能等传递给国内的同仁。

講演「日本の医療管理状況」



講演「日本の医療管理状況」



講演「日本の医療管理状況」



報告1

- 6月28日に日中医学協会様に招かれて、西安にて3時間講演をしてきました。(中国語への通訳付き)
- 参加者の皆様は500床以上の中国各地の病院院長や病院副院長。
- 1週間の研修のメニューの一つが私の講演でした。
- 研修を受けないと院長などの管理職に就けないそうです。日本で言えば病院団体の研修を受けなければ、理事長になれないようなものです。
- 参加者のほとんどは公立病院。
- 公立とはいっても建物や土地が政府所有で、経営は民間が行います。
- いわゆる公設民営のような形で、院長が日本の理事長に当たります。
- 私の講演で最も関心を持っていただいたのは、日本の病院経営管理指標でした。
- 利益率とか人件費率の他、医師、看護師の給与について質問を多数いただきました。
- 看護師の給与は、日本の方がかなり高いようです。
- 医師の給与は、表面上は中国の方が低くなっていますが、リベートなど見えない報酬が中国ではあるそうです。

講師 長英一郎氏

報告2

- 「医薬衛生体制改革2016年の重点業務任務」に拠ると、2016年は第13次5か年計画の初年度であり、2020年に基本医療サービスをすべての人が享受できるようにするという目標を達成するために段階的目標を定める年、とのことである。
- 2016年医療改革のポイント
 - 1.設備(人員含む)の配置
 - 2.医療補償機構の健全化:医療サービス価格の健全化
 - 3.公立病院管理体制の整備:公立病院の人事管理・内部分配・運営管理などにおいて、健全な指標での評価体制を打ち立てる
 - 第三者評価を導入し、予算管理を行い、会計士制度を導入する
 - 4.人事制度改革:新しい人事制度を打ち立てる
 - 5.医療衛生行政に合致した給与体系を打ち立てる
 - 6.医療費の不合理な増加を抑制する
 - 7.公立中医医院の総合改革を推進する
 - 8.医療サービスを改善する
- ということで、中国の公立病院の8割は将来的に民営化されると言われている。
- 日中笹川医学奨学金制度の修了者が各々の領域でリーダーとなっており、病院の要職についていることを考えると、この領域の研修は需要の高いもので、同学会会員対象の研修として今後必要となっていく可能性がある。
- 参加していた院長、副院長はいずれも大変熱心であったが、その関心の多くは病院の経営に係るもので、今回長講師に講演をお願いしたことは非常に有効であったと考える。